

芝川地区 学校の望ましい教育環境に関する地域説明会 概要

日 時：令和6年9月4日（水）午後7時から8時25分まで

場 所：芝川公民館 会議室1, 2, 3

出席者：36名（うち傍聴者7名）

内 容：1 開会

2 教育長挨拶

3 資料説明

(1) 富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

(2) 芝川地区 学校の望ましい教育環境に関するアンケート調査結果

(3) 学校の望ましい教育環境に関する保護者懇談会の報告

4 質疑応答

5 閉会

質疑応答内容（抜粋）

○学校の適正化について、ある程度の方向性が既に決まっているのか。

⇒今回の説明会は、令和6年4月に策定した基本方針や児童生徒数の推移について説明し、皆さんに今後の教育環境について考えていただく場であり、今後の具体案は考えていない。

○今後、地域の声は反映されるのか。また、説明会を開催してほしいという地域の声もあるがいかがか。

⇒地域の声を重視し、地域の人々が納得できる形を模索するために説明会を繰り返し行い、意見を集める必要がある。区としては、会合を通じて地域の意見を教育委員会に伝えていただくことをお願いしたい。

○こどもが1人でも学校は運営されるのか。

⇒1人でもその学校に通いたいこどもがいれば、開設されることは可能だが、親の海外転勤や病気による入院などでこどもが学校に通えなくなると、校長や教員だけが残される事態が生じてしまうため、実際には難しいというのが実情である。

○粟倉分校が休校に至った過程で、教育委員会から地域への話はあったか。

⇒地域の方々へのアンケートを通じて、様々な意見が多く寄せられた中で、特に重視されたのは、現在小学校に通っているこどもの教育に関してだった。今後、小学校生活を送るこどものことを地域全体で考え、理解することで、最終的には地域の方々もその意見を受け入れていただいた。

○統廃合を進める意向があるのか不明なまま、意見を求められても何を質問すべきか分からない。

⇒富士宮市では複式学級を可能な限り解消したいと考えているが、それを一方的に決定するのではなく、地域の皆さんと共に考えていくことが重要と考える。

○基本方針から計画を策定する過程や最終意思決定はどのように考えたらよいか。

⇒具体的な計画として策定するかどうかは未確定であり、計画を策定せずに進行する可能性も考えられる。仮に計画を策定する場合は、教育委員会に諮り、決定後に皆さんに示すことになる。

○国では適正規模と適正配置という考えが示されているが、適正規模を重視して進めていくのか。

⇒市としては、1学年2学級の規模を確保するために、まずは複式学級の解消を進めていく。